

電波利用促進フォーラム' 11.05

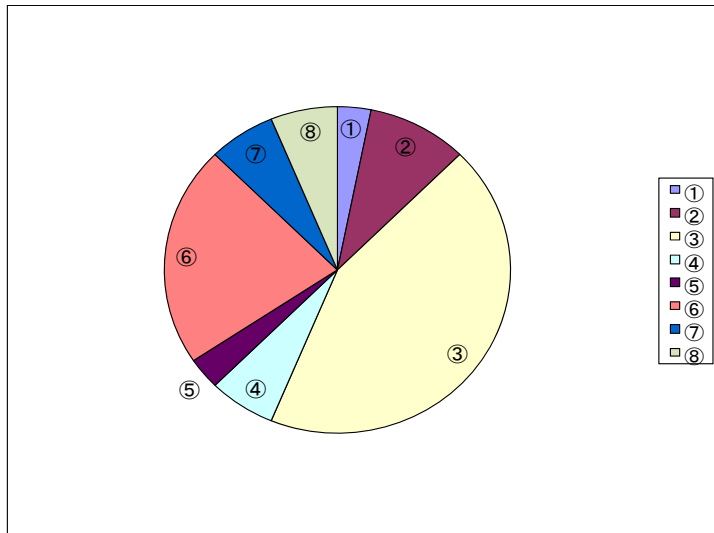
【アンケート集約結果】

- 日時 平成23年5月26日(木) 15:15~17:15
- 会場 岡山国際交流センター 2階 国際会議室
- 主催 総務省中国総合通信局、岡山県、岡山県高度情報化推進協議会、岡山IPv6コンソーシアム、中国情報通信懇談会
- 協賛 情報通信月間推進協議会
- 参加者数/アンケート回収数 120名/32名 (回収率26.7%)

1 貴方が所属する企業・団体の主な業務分野は次のどれですか。一つ選んで番号に○印をつけてください。

- ①製造・販売 ②エネルギー ③情報通信 ④放送 ⑤サービス ⑥公務 ⑦その他
⑧個人

番号	回答数
①	1
②	3
③	14
④	2
⑤	1
⑥	7
⑦	2
⑧	2
計	32



2 本フォーラムの各話題についてご意見・ご感想をお願いします。

講演1 『ホワイトスペース活用の実現に向けて』

講師：総務省 総合通信基盤局 電波部 電波政策課 第一計画係長 瀬田 尚子 氏

1. ホワイトスペースの現状がよくわかった。
2. ホワイトスペースの概要について理解できた。今後、新たなビジネスやサービスが考えられる。
3. ホワイトスペースについてわかりやすく説明していただきありがとうございました。エリアワンセグは活用シーンがありそうなので参考になった。
4. これからのホワイトスペースの活用の実現に期待する。
5. 「ホワイトスペース」というものの存在は知らなかった。お話を伺い、本当に有用な方策と思った。勉強になった。
6. ホワイトスペース特区の中でも、鳥取県で行われているエネルギー地産地消モデルを実現するためのホワイトスペース活用に注目していきたいと思った。
7. 電波の公共性を考えると、特定の業者(団体)による放送(エリアワンセグ)は少し不安を感じる。
8. 少ない資源を有効に利用しようとする方向性は理解でき、賛同できるものと思った。
9. ホワイトスペースとは何であるかと、電波の周波数を有効活用する考え方と、海外の動向などを含めて、電波利用の発展拡大への推進が見えてきた。

10. ホワイトスペースの今後の可能性など興味深い内容だった。
11. 国際標準化にも対応することを考慮した、技術基準の策定が急がれると思われる。(ホワイトスペース特区での実験においても、プライマリーシステムへの影響について可能な限りデータを求めたらどうだろう。) 将来、あるいは発展型を考えると、プライマリーシステムがダウンしてもホワイトスペースシステムが対応できるように、ホワイトスペースシステムのネットワーク化も考えたらどうでしょう。(今回の東日本大震災のような災害時の対応に、有効になるのではないのでしょうか。) 講演2では交通網の利用も考えてネットワーク化が提言されていますが、通常時は良いとしても、災害時に交通網が止まった場合は、機能するか否かは難しいと思われる。
12. 電波有効利用の動きがよくわかった。
13. 現状、進め方等、明確に示されて良かった。
14. よく理解できた。
15. 災害や地球環境問題への対応が急務であると考え。商業的な用途は民に任せて、国、地公体は社会的な問題に投資を含めて、積極的に取り組んでいただきたいと感じた。
16. インフラとしては新しい可能性を感じますが、そのコンテンツの充実化が難しそうだと思う。一個人の視点から見て、メディア媒体がさらに多くなると予想する。利用されるコンテンツを作ることが必要と考える。
17. 便利であると思うが、市町村の出番はないかと思った。利用可能chといわれても混信の可能性があるので二の足を踏む。
18. ホワイトスペースについて知らなかったので、知るいい機会になった。また、ホワイトスペースは色々な可能性を秘めていると感じた。
19. 実現に向けて検討すべき課題等が、技術的、制度的にクリアできれば、提案されている募集内容はどれも実用的で、早期に実現してほしい。
20. ホワイトスペースについてあまり知識が無かったので、今回の講演で考え方や取り組みについて知ることができ、とても勉強になった。
21. ホワイトスペースの検討経緯や検討状況、海外の状況等がよくわかり勉強になった。
22. ホワイトスペースの可能性に関しては、商売として考えていくと、新しい市場(ブルーオーシャン)があると思い、大変ワクワクするような話だった。
23. 制度があることがわかってよかった。今後注目。
24. 公共的サービスが主な利用となるのか、企業が利益媒体として活用できるのか、今ひとつ明確でない感じがする。一定の利益媒体としての活用が可能であれば、早い段階で広がりを見せる可能性があると思える。

講演2『新しい地域情報サービスとメディア』

講師：株式会社トマデジ 取締役執行役員 事業本部長 舟橋 洋介 氏

1. 地域情報をメディア化しようという意気込みがよくわかった。もう少し具体的な例を知りたいと思った。
2. 交通網と情報網の類似性に注目して連携させる、ICT-Trモデルの事業計画の策定は3月11日で再策定が必要であるようですが、移動している鉄道網との連携は有効であると思われるので、これからに期待する。
3. ホワイトスペースの可能性について知ることができた。
4. 興味深い話で面白かった。
5. 海外の市場動向や同一事業者間のカンショ機能としてのトマデジ(株)の企業方針に新たな考え方が参考になった。(原文のまま)
6. ホワイトスペースの活用法について、様々な考え方があり面白い内容だった。
7. 実際の地域情報サービスやメディアオペレータのコーディネータやアドバイザーとしての役割は理解できたが、今一番求められる、あるいは急がれるテーマは何か、スバツと言うことは難しいのでしょうか。地域にとっては、国際情勢や標準化の動向から何がポイント(電波利用の観点から)になるか、

絵画的ではなく順位付けして教えて欲しいというのが本音だと思います。(そこが会社としてのスタンダードポイントとすれば、話すことは難しいかもしれませんが。なお、キーポイントとして4つにまとめられておられた点は参考になったと思います。交通網の利用をあげておられるが、災害時にストップしたときどうするかが課題となると思われます。(今回の東日本震災でこの点があぶり出されたと考えます。)

8. 情報発信のあり方に興味があった。
9. 主題が不明。知っていることを並べて、何を言いたいのか判らなかった。鹿児島は何をやってどうだったのか。
10. 経験に基づいた大変面白い内容だった。
11. A I D M Aは非常に興味深と感じた。既にmoveしている人に情報を与えることが重要と初めて認識できた。岡山地区というコンテンツで何ができるかを考えてみたいと思う。
12. ホワイトスペースの活用について、もっと詳しく聞きたかった。全地域共通の基本情報が必要であることは同意する。
13. 東日本大震災を基点として、ゼロベース再考で考える考え方は、とても面白いと感じた。交通網と情報網をあわせたICT-Trモデルにも興味をもてた。
14. 地域情報サービスは難しいと言われる・・・同感
15. 広い視点でメディアの活用についてのお話をお聞きすることができ、今後のサービスを考える上でとても参考になった。
16. 提供するサービス(ソフト)の質を問われると思う。
17. 新しい視点(市場)ができるのではないかとイメージがわきとても参考になった。
18. 地域密着のコンテンツを考えればビジネスにもつながるか?
19. 地域的に利用したいという気持ちが増えてこないと実現可能性が少ないのでは。全く知られていないメディア形態であるが、一般の一定のコンセンサスを得るためには時間がかかるような感覚である。一般の方は、メディアはまた提供されているものという意識が強い。自ら情報発信をしたいという動きを作っていくことが重要ではないか。

3 ホワイトスペースを活用して、実現したら良いと期待されることはなんですか。

1. 無線LANへの利用
2. 地域の安全情報の共有。災害対策だけでなく、不審者情報等
3. スポット的な、外向けな情報発信。
4. 防災情報、議会中継など。
5. 様々なもの(例えば家電等)のネットワーク化を、ホワイトスペースを利用して実現できると良いと思う。
6. 90~3000MHz 間での電波の二次利用として、ワンセグのみに限定せず、利用期間を半永久として固定区間通信へ利用してはどうか。活用先として、省エネの一環としてスマートグリッドへの展開導入を検討・実施してはどうか。また、携帯電話端末へのホワイトスペース利用ができるようGPSによる位置情報と連携して、利用地区(セル単位)での利用周波数帯を切り替えていく。
7. 従来のワンセグ放送で難視となる地域への改善。山間部、ビル陰など。
8. 防災、または被災情報の市民への提供。
9. ホワイトスペースと微弱電波の利用の差は、ワンセグ機器を使うので違うのか。空間をより広く使えるのがホワイトスペースとすれば、個人と多との通信を行う時分割情報発信サービスを、地域エリア内で実現することは(多重個人放送サービスのようなもの)
10. 防災、地域天気の詳細な情報。
11. スマートグリッドの用途で地産地消エネルギーを実現いただきたい。生活様式の見直しを含めて、自然エネルギーのみで人々が生活できる社会を実現していただきたい。
12. 災害情報提供。個人、時間、場所等を考慮した広告手法
13. 双方向の通信サービス。一人暮らしの見守り支援として、テレビ電話が活用できればいいかなと思う。

14. イベント中継、配信（観光、スポーツ大会）。緊急放送（事故、火災、車の渋滞情報）。道案内。ボランティア情報等ごく身近な存在としての活用法
15. 地方と首都圏の情報、利便性の隔差の解消
16. 救急医療 → 病院、医師 情報等の提供に関する内容であれば、必要性はないと思われる。（双方向であれば適切な病院医療を受けれるメリット）

4 電波利用について、どんなことに一番関心がありますか。

1. いつでも、どこでも利用できるという最大の利点を生かす、もしくは生かせるということに関心があるものの、具体的なものは不明。
2. ワンセグ、災害対策。
3. アドホックネットワーク
4. 災害時の代替ネットワークとしての利用
5. アドホックネットワークへの活用に関心を持った。災害時の連絡手段の確保に大変重要だと思う。
6. スーパーHV
7. 公衆と個別サービスのシームレスな実現をできる電波を使いたいときがある？
8. 旧来の利用者の扱いをどうするのか、どう扱ったらよいのか？
9. 割り当て、有効利用。
10. 山間部ではなかなか利用しにくい。

5 自由意見（全体を通して）

1. 可能性の広い、新しいメディアの出現として捉えることが必要だと感じた。
2. 岡山県もホワイトスペースの実証実験事業に名乗りしていただきたい。
3. 岡山地区の発展にどのようにつながるのか、という観点での紹介がもっとあればよいと思った。岡山県からの質問にも、もっと明確に答えていただければ良かったと思う。岡山地区が自発的に考えることも重要ですが、国から岡山に期待することは何でしょうか？
4. ありがとうございました。
5. ホワイトスペースの情報発信をお願いします。
6. 両講演とも、今までの考え方にない、新しい思考となる参考となりました。
7. 講師の方々が、マイクが遠くてしゃべりにくそうだった。
8. スライドの文字が小さくて見えなかった。
9. ぜひ、岡山県で県の新型無線LANの実証実験を実施して欲しい。

アンケートにご協力くださりまして、ありがとうございました。